

事例  
研究高齡者の活躍が  
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

新しい時代に向けて、力を合わせる  
一般財団法人  
札幌勤労者職業福祉センター環境の劇的な変化に耐えて、  
まずは生き残る

一般財団法人札幌勤労者職業福祉センターは、北24条にある複合施設(札幌サンプラザ)を運営する団体だ。総務部長の栗田弘之さんに現状を伺った。「コロナ禍の中、この1年間で約120名の従業員のうち約30名が自ら辞めていきました。廃業に追い込まれたホテルもあるなか、まだ、なんとかうちは健闘している方かなとは思いますが……」。自分たちの努力だけではどうにもできない悔しさが滲んでいる。こういう状況だからこそ、残った従業員と力を合わせて乗り切っていくしかない。

「現在、残っている90名のうち60歳以上の従業員が占める割合は約1割」と栗田さん。定年は60歳、65歳までは再雇用、その後はパートとして年齢の上限なく働ける職場だ。

「シニア世代の従業員は2パターンいます。現役から働いて定年を迎えパートとして働いている方がひとつ。もうひとつはシニアになって入社し、覚えやすいけれどハードな作業、例えば清掃業務などを担当する人。主婦など家事経験者に

清掃を任せると、基本を伝えるだけであとは自分で判断してこなしてくれるので大変助かる」と話す。また急な労働時間の延長にも柔軟に対応してくれるケースが多いのも、子供から解放されたシニアの方ならではの「とっても頼りになる」と栗田さん。

こういう時代だからこそ  
応用力のあるシニアが頼りになる

栗田さんから見て、シニア世代のもっとも頼りになるところは「シニアは、まわりが見えている。全体が見えているから自分の担当以外の業務にも、自然に取り組んでくれるんです。特に今みたいな、人手が減って営業状態が不安定な時期だから、周囲に自然と気配りができるシニアは心強い」と話す。そんなシニア世代のひとりを紹介していただいた。小笠原絹子さん、67歳だ。小笠原さんは現在、文化教室のスケジュール管理等を担当している。

「パート職員として入社したのが26年前。その後、臨時職員、嘱託職員として電話交換、レストランのレジ係、内勤の営



写真左)札幌サンプラザ外観 写真中)ホテルのフロント 写真右)新型コロナウイルス感染症対策として、1時間に1回、すべてのエレベーターの、人が接触する箇所を消毒している。

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 会社概要 | 【会社名】  | 一般財団法人 札幌勤労者職業福祉センター                                 |
|      | 【設立】   | 1984年12月   |
|      | 【所在地】  | 札幌市北区北24条西5丁目  |
|      | 【業務内容】 | 札幌サンプラザの管理運営(宿泊、宴会、会議、レストラン、文化教室、音楽ホール、温水プール、イベント広場) |



総務部長  
栗田 弘之さん

「経験が豊富なシニアは、応用力と改善に向けた提案力があって頼りになる」と話す。「元気でやる気のある方は大歓迎です！」



小笠原 絹子さん  
札幌サンプラザの文化教室の運営等に携わっている。「コロナ禍が収束して世の中が落ち着いたら、元気なうちに旅行に行きたいですね。」

業を経験して、10年前から文化事業を担当しています」(小笠原さん)。1日6時間、9時から15時45分まで、シフトによるが、週に5日間ほど働いている。

### 「いろんなことがあっても、 いろんな人が助けてくれる」

「この26年間、いろんなことがあって、いろんな人に助けてもらった」と小笠原さん。なかでも2年前、信号無視をして突っ込んできた車に轢かれるという交通事故にあって、2か月間入院した時のこと。「小笠原さんが辞めずに、また職場に復帰すると言ってくれたので、彼女に任せきりだった仕事をなんとかみんなと協力しながら処理したんです」と栗田さん。小笠原さんが帰ってくるまでは、なんとか持ちこたえようとみんなで頑張ったという。働く仲間をみんなで支えようとする、「職場の温かさ」を強く感じた。

ポスト・コロナに向けて、今いるメンバー全員で新しくスタートを切るとき、小笠原さんが欠かせないメンバーであることは間違いのないだろう。

### 社労士からひとこと!



社会保険労務士・  
キャリアコンサルタント  
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

### 「非接触」の時代だから経験豊かなシニアの「温かさ」を

札幌サンプラザは、わたくしも仕事で何度かお邪魔したことがあります。地元根付いた施設で、お昼時のレストランはかなり込み合っています。お客様も地元の年配の方が多く感じます。他のホテルと違ってなぜかホッとするのは、従業員の年齢が比較的高く、温かみのある接客があるからなのではないかな?と思いました。

コロナの時代、「非接触型」のタイプの物の導入が進んでおり温かみを感じる場面がだんだん少なくなっていくでしょう。

そこで人生経験を積んだシニアの方に活躍してほしいと考えています。館内各施設の前で困っているシニアにはシニアが対応する、そんな温かみのある職場であって欲しいものです。

## 高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら  
**就サポ** 札幌市就業  
サポートセンター

求人開拓室

☎ 011-708-7865

☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市  
02-H03-21-2015  
R3-2-1303

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。